

エントリーパターン3

はじめに

エントリーパターン集第三弾です

見える化流ならこういうところも狙える 獲物数を増やしてチャンス回数を増やす

騙しを回避する 勝率をアップさせる

負けパターンを理解する 損失を減らす

非公式だけできっと見える化流



見える化流ならこんなところも取れる

4時間足が高値を超えた後全戻ししたけど安値はまだ割ってない 押し目買いの可能性がまだある状況

全戻しや戻しすぎのケース

P待つのは4時間足で見える2番底+2番底目で1時間足の上昇トレンド発生 #4時間足で見える2番底+2番目で見える1時間足の注文の集中抜け(4時間足安値切り上げ2番の1時間足安値切り上げの2番)

4時間足トレンドラインを抜けた後にレジサボ転換し押し目をつけてきたところで1時間足2番底からのエントリー 通常の4時間足が高値を超えて押し目買いの4時間足が斜めバージョン

1時間で綺麗に押し目をつけていて4時間に派生するケース

4時間足の直撃エリアで止まっていることは大前提

4時間足では足が早くなる、4時間足で見ると小さいダウカウントでいっちゃったというのがこのケース

1時間足で見るととても綺麗にトレードしたいと思える形をしている

P 1時間足の押し目買いは15分足2番底ネックライン越えからエントリー

4時間の資金が入ってくるかは不明なので5分足ダウ崩れで決済する。欲張らないのが大事で、4時間足に派生するのは結果伸びたというだけで4時間足の押し目買いエリアだからと最初から15分足で伸ばそうとするのはリスクが高まる。

2番の2番は分類③と混同しやすいけど、このケースはエントリーポイントになる

前提: 4時間足押し目買いエリア

1時間足が安値切り上げの2番底 ネックラインが4時間足の前回高値になっちゃってなるべく手前から入りたいという心理が働いている

P 1時間足2番底目で15分足安値切り上げの2番底のネックライン越えからのエントリー 15分足

1時間足のネックラインがリスクとなり、超えるかどうかを見ておく必要がある。

#攻防ライン抜けからのエントリー

水平線と同じ役割で攻防ラインを抜けたら市場参加者の意識が変わる=早い勢力はそこで利確・損切りしてくる

水平線を超える前に決着がつくところを探す 1時間足のネックラインが見えた後に斜めの攻防ラインは探すことになる。

1時間足2番底目は15分の上昇トレンド発生まで待つがセオリーだけど、この攻防ラインが見つけられたら斜め抜けからエントリーが出来る。

15分足で攻防ラインを見つけてもそこを上抜けたからといって1時間足が損切りするとは限らない

これがおそらくアーリーエントリーで一番多い気がする

15分の攻防ラインとの違い

注文の集中を抜けたらエントリー。は正しいんだけど、1時間足の注文の集中を抜けたらエントリーというのが抜けていたり、節目近くでエントリーしたいという気持ちや損切りに遭うなら損失は小さくという気持ちが先行している。

騙しを回避する

そのローソク足本当に抜けたの?はどうやって確認する? 2つ下の時間足で押し目買いが入ったことで確認とする

抜けたよね確認 1時間足のローソク足が本当に抜けたのかどうかの意味 1時間足の終値で戻って実体収納の場合、「止められた」と判断されてその後逆行するリスクが高まる。これが一番恐れていること。 例 5分足で抜けたよね確認

実際の回避した場面 5分足の様子

時間の優位性がある時は抜けたよね確認をしない

欠点はどんどん伸びるときは取れない 5分足の様子

1時間足が高値を超えてそのまま伸びる時やネックラインで止まるときは利益になるが、1時間足が押しをつけてくる場合は15分足で損切りにするルールでは損切りに遭う覚悟が必要

抜けたよね確認の限界

16時には注意

負けパターンを言語化する

テクニカルは出てるけど、苦手なパターン これは各自見つけて対策する必要があります

負けパターンは2つ。 エントリーポイントではない集(僕が当初何でもかんでもテクニカルが出たと判断して負けまくったところ)

方向しか見てないトレード 未来のイメージは爆上げで、勢いを分析できていない。

日足のトレンドラインを4時間足のトレンドラインと誤解する(詳細は準優位性の動画参照)

抜けたよね確認をする場所がおかしくて、結局ブレイクエントリーになってしまっているパターン

買いのエリア・売りのエリアの水平線が見えた場合の抜けたよね確認でのエントリー

4時間足の斜めのラインに対して15分の抜けたよね確認でのエントリー(詳細は準優位性の動画参照)

押し目買い・戻り売りですらない

そこで抜けたよね確認をしてどの時間足の資金投入がされやすいのかと考えるとトレンドフォローになっていないことに気づくことができる

日足の資金狙いでのアーリーエントリー

日足の損切りを巻き込むことを期待する=自分が日足の資金狙いで軸足がずれている=かなり欲に支配されている状態

日足の節目を割ったところで大陽線・大陰線のイメージしかなく日足の攻防ライン直撃エリアでエントリーを繰り返す 僕のテールイベント発生原因

日足の押し目買い、4時間足のネックライン越えるかどうか=スウィングトレードを15分足で捉えようとする

理想的にはデイトレードで5分足を捉えるのと同じはずなんですけど、日足の押し目買いが入ってくるタイミングが4時間足の1.5倍間延びするので、4時間足が3番、4番と時間差がかなりある=ネックラインを超えようとして超えない動きをよくしてくる。

見える化流【非公式】

前提 1時間足の安値に損切りを置いている人はまだホールドしている 15分ダウ崩れで一旦ポジションを閉じるのは自分の戦略なので次のエントリーポイントがきたら入らないといけない

獲物を追い続ける、2回目のエントリーポイント

1時間足はネックラインを超えて一度エントリーポイントがきたあと、15分で一度損切りをする 1時間足では3番底をつけている

P最後の下落の波(損切りを巻き込んだ波)が終わって上昇に転じることを15分、5分で見ると ネックラインを超える前の3番底ではないので注意。 ネックラインを超える前の3番底では通常通り15分の上昇トレンド発生まで待つ

逆からくるパターン攻略 4時間足押し目買いエリア

1時間足2番底で2番目で下目線になってくるケース

P 1時間足の戻り売りVS15分足2番底ネックライン越えの戦いが同じ水平線でき、上に決着がついた時

1時間足 15分で見るとこうなる

#1時間足2番底目で15分足下目線VS5分足2番底ネックラインの戦いが同じ水平線で起きて上に決着がついた場合

2つを使うと根っこから試していける